

KEEP GOING

～見方考え方を働かせた
深い学びの実現～

2年生 国語科の実践 「あったらいいな、こんなもの」

1. 単元目標

身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。

【知識及び技能】(1)オ

話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

【思考力，判断力，表現力】A（1）エ

言葉がもつよさに気付くとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力，人間性等】

2. 本時のねらい

本時(4)のねらい

友達の考えた「道具」をくわしく聞くための質問をするときに使う語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。

【知識、技能】

本時(6)のねらい

・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話しの内容を捉えて感想をもつことができる。

【思考力, 判断力, 表現力】

・粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、質問や感想を述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】

3. 実践の内容 本時(4)クラスルーム、Padlet

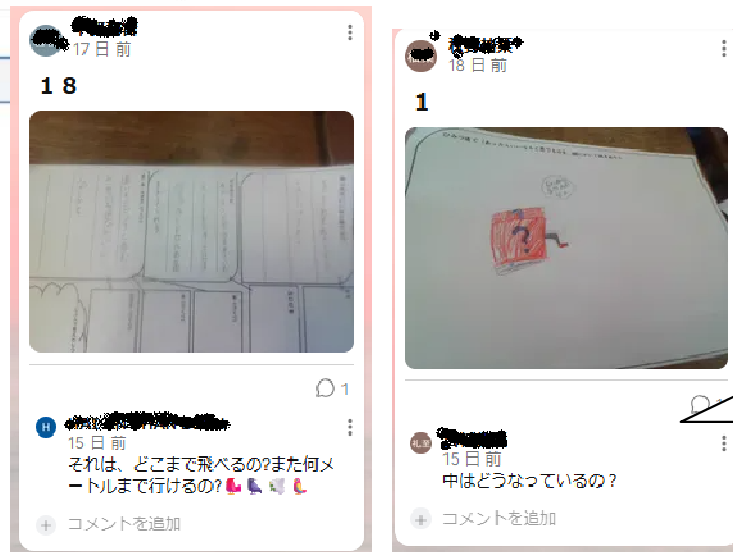
(1)ICT活用場面

ヒントコーナーを見ただけではわからない児童のためのヒントカード



(2)ICT活用のねらい・よさ

児童の理解度や進度に合わせることができる。



ワークシートだけでは、書くスペースが足りなかった児童がさらに考えて書き込める

3. 実践の内容 本時(6) オクリンク+

(1) ICT活用場面

できたらペンで○を書こう！

しつもんにこたえた

しつもんした

つけたした(メモ)

つけたした(絵)

自分の進行具合をオクリンクに送る

しつもんまんぞくどチェック

☐ くわしくなった！ ☐ もうすこしくわしくしたい ☒ くわしくならなかった

どれが1番くわしくなりましたか？

☐ わけ ☐ できること ☒ 形 ☐ 色 ☐ 大きさ

いいしつもんをしてくれた人はだれですか？

ふりかえりを書いて送る

(2) ICT活用のねらい・よさ

- ・ ICTを使うことで、他者参照しやすい。
- ・ 様々な考えに触れることができる。

4. 成果

本時(4)

- ・ICTが児童の理解や進度に合わせて学習するためのツールとなり、個別最適のために活用できた。

本時(6)

- ・ICTを使用したことで、自分が誰と学習を進めたいか考えて授業に取り組むことができた。

5. 課題

本時(4)

- ・低学年ということもあり、操作に不安を覚える児童もいるので、活用に慣れていく必要がある。

本時(6)

- ・活動をしなから、進行具合をカードで送ることは難しかった。
- ・使うことに慣れてから、授業での使用頻度を増やしたい。